

大震災・復興ニュース(第108報)

平成25年5月16日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

1 測定年月日 平成25年5月10日～5月14日

2 測定分析機関 宮城県,(一財)日本冷凍食品検査協会,(公財)海洋生物環境研究所,
(株)総合水研究所,(一財)日本食品分析センター,いであ(株)

3 測定及び対応結果

全ての検査品目について,基準値を下回り,安全性に問題ないことが確認されました。

なお,「不検出」とは,放射性物質の濃度が,検出限界値に満たない(検出下限値未満)ことを指します。

水産物(漁獲日 平成25年4月28日～5月14日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
カラフトマス	金華山～江の島沖	不検出	アイナメ	山元沖	1.9
クロダイ	東松島市浜市沖	1.3	アカガイ	仙台市荒浜地先	不検出
コノシロ	東松島市浜市沖	0.6	イシガレイ	山元沖	6.3
スズキ	東松島市浜市沖	2.5	クロダイ	岩沼市二の倉沖	7.7
スズキ	東松島市浜市沖	6.1	スズキ	金華山沖	9.4
スズキ	金華山～江の島沖	1.2	ヒガンフグ	岩沼市二の倉沖	1.8
スズキ	宮城県沖	2.0	ヒガンフグ	花淵浜	3.6
スズキ	金華山～江の島沖	不検出	ヒラメ	名取市閑上沖	6.7
スズキ	金華山～江の島沖	2.6	ヒラメ	亘理沖	6.7
ヌマガレイ	東松島市浜市沖	4.6	マコガレイ	名取市閑上沖	7.9
ヒガンフグ	東松島市浜市沖	1.0	イワナ	江合川支流寒湯沢	5.4
マダラ	宮城県沖	2.3	イワナ(養殖)	栗原市栗駒(養魚場)	不検出
マダラ	大須沖	1.3	ヤマトシジミ	阿武隈川(亘理町)	8.1

放射性物質の値は漁獲日における値を示す

アイナメの水揚げ自粛の解除について

・宮城県水産物放射能対策連絡協議会では,放射性セシウムの基準値を超える水産物を市場に流通させないため,仙台湾におけるアイナメの水揚げを自粛しておりましたが,4月25日から5月9日までに,仙台湾南部海域で採取したアイナメに含まれる放射性セシウムの検査結果がすべて50ベクレル/kgを下回っていたことから,5月15日の水揚げ開始日から解除することとしたのでお知らせします。なお,今回の解除で県内全海域におけるアイナメの水揚げ自粛が解除されることになります。

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

塩釜市魚市場の水揚げ状況

・地方卸売市場塩竈魚市場の1月から4月までの水揚げは,数量で3,055トン,金額で17億3千6百万円となり,前年と比べると数量で2,430トン,金額で11億5千7百万円の減少となりました。

主な要因としては,昨年好調だった遠洋底引網漁業で漁獲され陸送されてきた「クサカリツボダイ」が減少したためです。

塩竈市魚市場水揚状況

(トン, 千円)

月	平成25年		平成24年		対 比	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1	687	359,984	1,225	552,654	56%	65%
2	400	273,004	760	428,902	53%	64%
3	459	365,393	1,281	728,329	36%	50%
4	1,509	738,630	2,219	1,183,072	68%	62%
累 計	3,055	1,736,011	5,485	2,892,957	56%	60%

花洲浜ワカメ出荷作業が終了しました

・宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所花洲浜グループによる今季のワカメ出荷が5月13日(月)に終了しました。

震災後に始めたワカメ養殖も2期目となり、今期は初めての自家採苗種による生産でした。

1月～2月にやや色落ちしたものの3月以降回復し、生ワカメ(約30トン)、ボイル塩蔵(約25トン)、メカブ(約2トン)を出荷し、概ね計画どおりの生産となりました。



ワカメ(メカブ)出荷作業の様子

東京電力(株)の風評被害に係る賠償説明会が開催されました



東京電力(株)による説明会

・5月16日(木)宮城県トラック協会塩釜支部を会場に、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による農林水産物の買い控え等に伴う風評被害の損害賠償手続き等について、説明会が開催されました。

この説明会は、宮城県流通対策協議会や塩釜市魚市場買受人協同組合、塩釜市水産振興協議会が共催で開催したもので、会場には水産加工業者等関係者約50人が、東京電力(株)東北補償相談センター職員の説明を熱心に聞き入っていました。